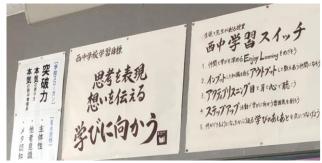
2022, 9, 14 文責:山香 昭

学校訪問シリーズ 4

臼杵市立西中学校から学ぶ

学校の教育目標「豊かな人間性と学びに向か う力を身に付けた心身ともに健康で突破力のあ る西中生の育成」を達成するため、育成を目指す 資質・能力を「問題発見・解決能力(主体性、他 者意識、メタ認知)」と定め、これまで以上にさ らに深化、改善を行っている西中学校。



「職員会議等で私が話すと、全職員が体ごと私の方を向き、熱心に聴いてくれます。職員のア クティブリスニングがすごいです!」と、後藤校長先生が笑顔でおっしゃっていました。

学校経営から学ぶ

「3つの提言推進拠点校」として、常に先 進的な実践を行い成果を出してきた本校 は、今年度は特に各教科における「見方・考 え方」について研究を行っています。そのた め、各単元において、必ず問題解決学習を 取り入れています。また、その成果と課題を MD 研修や教科部会等で共有し、さらに、学 級で格差が生まれないよう、クラス別の教科 担当者会を設け、全教員の授業力の向上を 図っています。

さらに、「ふりかえり」を重視し、毎 時間だけでなく、単元後には「学びの足 あと」として記録させ、必ず単元テスト で確認をしています。最近は、生徒自身 が3観点を意識した「ふりかえり」を行 い、次の授業に活かしています。

授業から学ぶ

Ⅰ年生4学級の授業を参観しました。Ⅰ年 生らしい明るさに加え、班活動では全員が参 加して学び合う姿や、友達の考えを共感的 に聴く「西中学習スイッチ」を意識した言動 がとても印象的でした。

特に、社会科の授業では、「縄文 時代と弥生時代 どっちに住みた い?」という、単元目標を設定してい たので、毎時間の学習の課題も明確 になり、生徒達は意欲的に取り組ん でいました。きっと、メタ認知やプラン ニングカも向上すると確信しました。 大変参考になる授業でした。

なお、「第2回地域授業改善協議会」を令和4年10月28日(金)に本 校で開催します。組織的な授業改善を継続的、発展的に研究し続けた本 校の実践を、生徒の変容を通して学ぶことができます。ぜひお越し下さい。



みんなでつくる

みんなで考えを出しあったら、そ れらを繋げる人。整理する人。 そして書く人。それを見守る人。



発表できるのは

熱心に聴いてくれる友達がいる 見守ってくれる先生がいる。 安心な教室だから前に出られる



つなげる道具

タブレットにそれぞれ自分の考 えをまとめているから、交流が すぐにできる。意見が言える。

東文斯代と新生時代とうちに住みたい

の2数のイラストをじっくり出べてみる



友達が言いたかったことを、み んなで必死に考える。だから、 わかり合えるようになる。



美術の授業後。作業で出たゴ ミを残さずに集める。だから、細 やかな良い作品ができる。